

第3回
合同

福祉センターの再整備を考えよう

ワークショップニュース

2025. 5. 17 (土) 開催

発行：戸田市企画財政部資産マネジメント推進室 戸田市上戸田1-18-1 TEL:048-291-8212

～福祉センター再整備の検討を開始します～

戸田市の三つの福祉センターは開設以来、サークル活動、公民館まつりなど、地域コミュニティの拠点として、長年にわたり多くの市民に利用されてきました。しかしながら建築からおよそ50年が経ち、老朽化が目立つようになってきているため、皆様に安心して利用し続けてもらえるよう、施設の再整備を検討する必要があります。

そこで、新曽、西部、東部の三つの福祉センターそれぞれで、「福祉センターの再整備を考えようワークショップ」を3回ずつ開催し、福祉センターをどのように利用し、今後どのように使いたいのか、福祉センターの今後のあり方について地域の皆様と一緒に検討していきます。

■ 第3回ワークショップを開催しました

5月17日(土)の午後、戸田市役所にて、第3回ワークショップを開催しました。今回は3館合同の開催で37名の市民の方々にお集まりいただきました。

最初にこれまでの成果を振り返り、事務局でまとめた各センターのコンセプトを説明しました。その後、コンセプトについてどう感じたか、旗揚げアンケートでお聞きしました (p2～3)。

続いて、それぞれの新しいセンターのコンセプトを特徴づける諸室の優先順位をシール投票していただきました (p3～6)。

その後、新しい施設の運営委員になったつもりで、運営方針や企画案をグループごとに提案していただきました (p6～9)。その発表を聞いて市長からコメントをいただき(p12)、最後に感想カードを書いて (p10～12)、ワークショップを終了しました。

今回3館合同で実施したことで、他の施設の意見を聞いたことがよかったとの感想をたくさんいただきました。若い人の意見をもっと聞きたいとの意見も繰り返しありました。今回のワークショップの意見を基に市の考え方がまとめられ、より具体的な提案の検討に進むこととなります。今回の成果を具体化するために、さらに話し合いの場を広げていきましょう。



プログラム

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：それぞれのセンターの特徴づくりについて旗揚げアンケートでお聞きします
- ステップ3：コンセプトにふさわしい空間を選択しよう（シール投票）
- ステップ4：運営する立場になって、新しいセンターの運営方針を提案しよう
- ステップ5：グループ発表
- ステップ6：まとめと市長のコメント

センターの特徴づくりについてお聞きしました

それぞれのセンターのコンセプトについて、旗揚げアンケートでお聞きしました

【設問】 あなたのセンターのコンセプトに YES or NO ?	西部福祉センター	新曽福祉センター	東部福祉センター
① 私のセンターのコンセプトは納得できる	4	5	1
② もう少し検討して修正して欲しい	5	6	5
③ じっくりこないので再考して欲しい	2	1	3
④ 3つの施設を特徴づける必要性が分からない	0	2	3
⑤ その他	0	0	1

①を選んで〈西部〉

生涯学習を勉強だけに限らず、趣味やスポーツなど、いろいろな学習と捉えるならいいかなと思って①を選びました。

限られたスペースであれもこれもというのは限界があると思います。私は西部を基にした意見しか出していませんでしたので、三地区の意見を総合して、その中で特徴をそれぞれ持たせて、そこは充実して効率よくしていかなないと、全てを詰め込むのは無理だと思っています。特徴を持たせるのはいいことだと思います。

②を選んで〈西部〉

美女木地区は町会加入者数が減少している状況で、町内会館の建物も古くなっていて建て替え等については非常に厳しいという意見がありました。ですから西部福祉センターを建て替える場合には、町会のスペースとして会館の一部を利用させてもらいたいということも前回までのワークショップで強調しましたが、今日いただいた資料の中では交流スペースという形でしか出ていません。あくまでも各町会のスペースとして利用できるように、それが一番切実な願いだと思います。

②を選んで〈新曽〉

新曽地域には近隣にボートコースがあり、そこで高校、大学、インターカレッジが全国大会を行います。その際、町会会館に寄宿しますが入浴施設を持つ会館は少ないので、新曽では入浴施設を充実させれば良い。地域性を考慮し設計に活かすのが重要だと思います。

近隣にあいパルなどがありますが、福祉センターは行政の予算の支出拠点が違います。あくまでも行政で管理・運営をしなければいけないのか、民間で運営することも可能なのか。同じ税金を使うのであれば使い勝手のいい施設にした方が、いいのではないかと。

③を選んで〈新曽〉

①と③と④で迷い、③を揚げました。今ある施設をどう使うのかを話し合うと思い参加してきましたが、理想の公民館のあり方についての検討で、何を求めたらいいのか考えがまとまらないまま進んでしまいました。

これから行政がどう考えていくのかもわからずサークルとして使いやすい、使いにくいということしか考えなかったのも、この会議に参加するのが難しかったです。ただ皆さんの意見を聞き、こういう理想論があることを学びました。再考してほしいというより分からないというのが大きいかもしれません。

④を選んで〈東部〉

新曽にはホール、東部には体育室があり、西部は歴史の講座などに力を入れていると知っていましたので、このように結論づけることが全くおかしいとは思いませんが、われわれの意見の集約としてこういうものが出てくるのは少し違うと思います。

行政の方向性が分からず、霧の中を手探りで行くような、かすかな光に向かって意見を出したというの否めない。最終回なので行政の方向性を出してもらいたい。法令上の規制を説明していただければアイデアの出し方も変わり、もう少し具体化するのではないが。

⑤を選んで〈東部〉

皆さんと話した内容でまとめたわけだから①だとは思いますが。ただ既存の建物を中心に検討したので、今ある施設でいいのか？本当に①なのか？何十年も前に支所を置いたわけです。今の時代に本当に支所が必要か、そういう検討は何もなされていないと思います。

市の施設は地域ごとに公民館、福祉センターだけでなく他にもあるわけです。それとの兼ね合いを行政としてどう考えていくのか。行政の考え方が全く私たちに伝わらない中で検討してくださいといわれ動いているので、そこら辺に疑問を持っています。

それぞれのセンターのコンセプトにふさわしい空間を選択しよう

個人に配られたシール（新曽は8枚、西部は9枚、東部は11枚）を、新しいセンターのコンセプトを特徴づける諸室として優先順位の高いものに貼っていただきました

要素	西部福祉センター			新曽福祉センター			東部福祉センター			
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
新しく加えたい要素	1) 広場	3	2	3	2		2	3 [△]	4	2
	2) 市民交流スペース	4	1	3	2	3	2	△	1	2
	3) カフェラウンジ	4	3	4	3	4	6	3	4	2
	4) ワーキングスペース	3	2		3	3	3		1	2
	5) キッズスペース	2	2	1	2	5	4	3 [△]	4	3
	6) 軽体育室	1	1	2	3	3	1		1	3
	7) 娯楽スペース	1	1	2	1	3			1	2
既存部分で残したい要素	1) 図書館	4	3	2				3	4	3
	2) 支所、連絡所	3	2	4	1				4	2
	3) 講習会室、会議室など	2	2	3	4	4	4	2	4	3
	4) 茶華道室	1	1	2			3	2	2	
	5) 料理室	1	1		2	1		3	2	2
	6) 音楽室	1	1	2	1	4	3	3	4	3
	7) ホール		2	1	1	5	6		2	1
	8) 工芸室							3		1
	9) 体育室	1						3	4	3
	10) 親子ふれあい広場	1		1			3	3 [△]	1	1
	11) 老人いこいの室	2		1	3		1	△	1	1
	12) 機能回復訓練室				1					1
	13) 浴室	2	1		3	3	2			

※東部Aグループ△は、その番号に印がつけてあったのでそれを記載



西部福祉センターで出されたご意見

◆外部空間

- 広場と交流スペース、カフェラウンジ、一体化<西A>
- 幼児から小中学生まで外遊びができるあそび場<西A>
- 広場、体育室は屋外で<西A>
- 屋上に農園を作る→料理教室<西A>
- 屋上に広場<西C>



◆カフェラウンジ

- スタバ<西A>

◆図書館

- ワーキングスペースは図書館と一体化<西A>
- 静かな自習室と打ち合わせスペース<西A>
- 静かな図書館とにぎやかなフリースペースの両立<西A>
- 図書館とワークスペースをからめる<西B>
- 美笹中に近いので、図書室のレイアウトを工夫してほしい（自習ができる）<西C>

◆防災

- 防災にも利用できる各スペース<西A>
- 茶華道室と料理室は災害時に必要。子ども食堂。<西A>
- 4階建てにして避難場所にする。<西B>
- 通路、廊下の幅を広く。1.5倍程度（老人、防災の観点）。<西C>
- 水害時に避難出来るスペース<西C>



◆町会会館

- 町会会館として利用できるスペース<西B>
- 交流スペース。町会会館の建て替えが出来ない町会が利用するスペースにしてほしい。<西C>
- 町会の運営が困難な地区もある。福祉センターを町会と福祉センターの活動と協力して出来る様な仕組みが必要。<西C>

◆必要な諸室

- 支所の機能は必要です<西C>
- 不登校の子どもが通える場<西C>
- 和室（タタミ）の室は必要（高校の華道部が利用）<西C>
- 体育もできる防音床のホール<西C>



◆それぞれの特徴づけが必要

- 中途半端なものがいくつもあっても仕方がない。それぞれのセンターに特徴があるのは良い。必要なものを市民が使い分ければ良い。<西B>
- 本当に使いたければ遠くても行くはず。<西B>

◆不要な諸室

- 浴室は必要ないのではないかと<西C>
- 料理室は必要ないのでは<西C>
- 工芸室は他のセンターにあるのでいらぬ<西B>

◆フレキシブルに使う

- フリースペース、何にでも使えるようにしてほしい。<西B>
- 広いスペースを区分けして使う<西B>
- 会議室を仕切って使う。防音設備を作る（音楽などにも利用できる）<西B>
- なんにでも使える娯楽スペース<西C>
- 親子ふれあい広場と老人いこいの室の融合<西C>





新曽福祉センターで出されたご意見

◆カフェラウンジ

- カフェラウンジに販売できる場所が欲しい<新A>
- 交流のきっかけとしてカフェラウンジが必要<新A>
- あいパルのような使い勝手のよいスペース<新A>
- 今風のカフェラウンジが必要。無料。<新B>
- 場所の提供。カフェは食材が高いので大変。自動販売機とか、持ち込み可とか。<新B>
- カフェラウンジは人が集まりやすくなる。<新C>
- カフェラウンジを利用できる。ゆったり過ごす場にしてほしい。<新C>

◆老人いこいの室

- リフレッシュルーム<新A>
- 老人いこいの部屋に機能回復室も一緒に。<新A>

◆浴室

- 浴室は銭湯に行けない人のために<新A>
- 既存13)浴室をここにつくるより彩香の湯を利用しては?とはいえ浴室はあると良い。<新B>

◆会議室

- 既存3)多目的利用に対応出来る会議室<新B>
- 既存3)5)講習会室、会議室、音楽室は利用者が多く取り合い。防音がしっかりしていると良い。<新B>
- 会議室の利用料@200円/1h。<新B>

◆ホール

- ちょうど良いサイズのホール(文化会館だと大きすぎる)。やはり必要。照明などの設備も良い。<新B>
- ホールの必要性<新C>
- ホールの利用料は高い<新B>

◆若者の居場所

- PCが利用出来る部屋。若い人が集まる。<新C>
- 若い人たちが立ち寄りやすい場。子ども達の過ごしやすい場(ふれあいの場)<新C>

◆機能を組み合わせる

- 交流スペースにキッズや老人も親子ふれあいの場に一緒に<新A>
- 新規2)~5) 使い次第で同じスペースに!<新B>
- 既存11)老人いこいの室というよりは交流スペースと同じにしては。年令を問わず利用可能なスペースとして活用。<新B>



◆外部空間

- 駐車場が広くてよい。広場をつかって駐車場が狭くなると困る。<新B>
- 屋上スペースを有効利用して運動できる場所にしては?<新B>
- 駐車場の充実をしてほしい<新B>

◆その他

- 音楽室(大きな音を出しても大丈夫)<新C>
- 図書室はいない。新曽地区は行政施設が充実している。図書館も近くにある。<新B>
- トコバスの停留所にしてほしい<新B>





東部福祉センターで出されたご意見

◆誰もが来られる場

- 名前を変えていくことで誰でも入れる所にする。〈東A〉
- だれでも来られるこども食堂 〈東A〉
- カフェラウンジを1Fにして入りやすく〈東B〉
- 多世代交流。キッズスペース、老人いこいの室、娯楽スペース、親子ふれあい広場全てに使える。〈東B〉



◆外部空間

- 広場に集まれる〈東A〉
- 広場、マルシェ〈東B〉



◆フレキシブルに使える

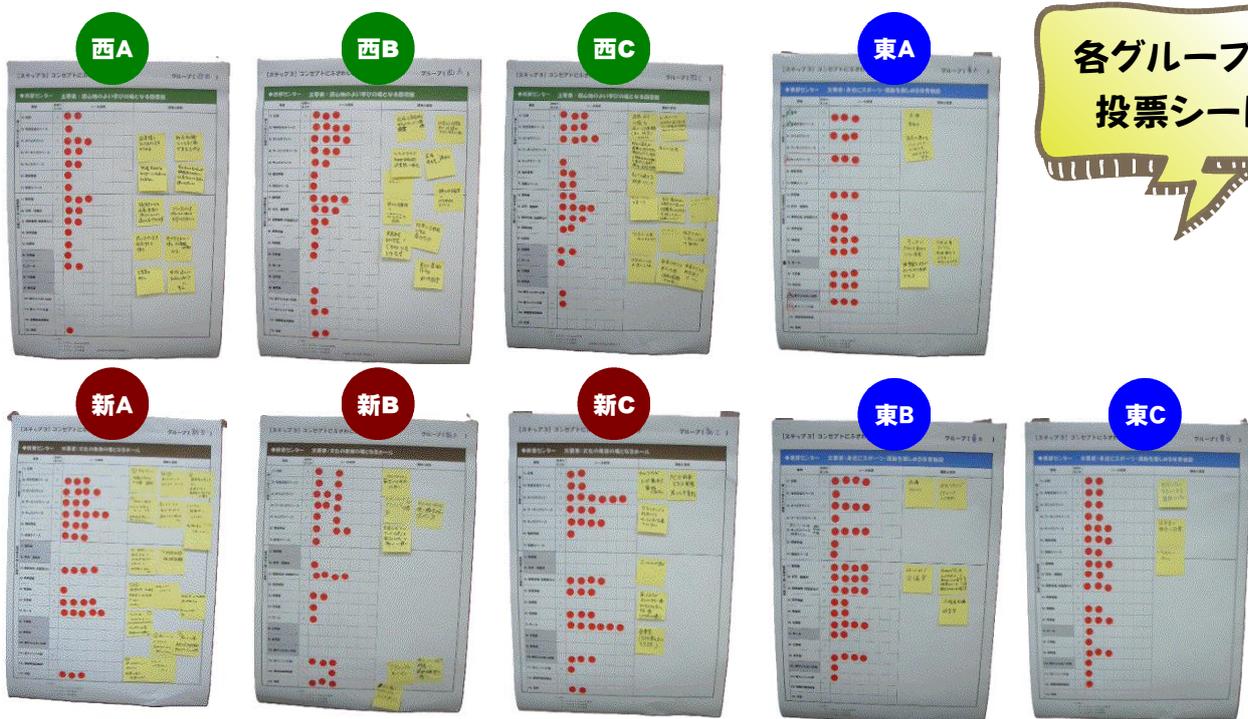
- 仕切れる会議室〈東B〉
- 区分しない、ゆるく仕切る、専用にしない〈東C〉
- 娯楽スペースは多目的に使える〈東C〉

◆体育室

- 体育室はイスを利用してホールとして利用できる。〈東A〉
- 冷暖房完備の体育室〈東B〉
- 体育室に器具を設置〈東C〉

◆料理室

- 料理室では子ども食堂もできるし、料理教室もできるし飲み食いもできる。〈東A〉



各グループの投票シート

新しいセンターの運営方針を提案してください

3地区それぞれの空間の特徴を活かしつつ、多世代の利用者がそれぞれ利用しやすく、時には交流できるようなプログラムを運営する立場になって考えていただきました

「みささパル」

<西部Aグループ>

●センターの運営方針（コンセプト）

- ・遊べる図書館
- ・にぎやかな学びの拠点
- ・メディアセンター
- ・子ども達の居場所
- ・専門図書を集める

●多世代交流プログラム

- ・親子料理教室
- ・子ども商店街。小学生が運営委員になりフリーマーケット。
- ・劇団を作る
- ・寺子屋学習センター



●親しまれる年中行事

- ・お菓子作り教室
- ・ダンス大会。小、中、高、大人の部で競う。
- ・健康増進の講座・利用者、周辺住民との交流。発表の場。お祭り。

●その他

- ・農園を借りて野菜作り体験
- ・新田公園など広い土地に移転
- ・商業施設との複合化。スーパー銭湯など。
- ・異文化交流、国際交流
- ・朝市、フリマ、キッチンカー
- ・地域の環境を生かした緑と自然に親しむイベント。道満グリーンパーク。

普通の図書館ではつまらないので、専門図書を増やすなど少し特色を出したい。図書館が子ども達の居場所になったり、メディアセンター機能を持たせるような。公園と一緒に公共施設を考えたり、商業施設として複合化しても良いのでは。多世代交流、国際交流の拠点になる視点があってもいいのではないかな。

「MISASAパル」

<西部Bグループ>

●センターの運営方針（コンセプト）

- ・文化交流

●多世代交流プログラム

●親しまれる年中行事

- ・公民館まつり
- ・様々な発表会
- ・人形劇フェスティバルとか
- ・朝市、フリーマーケット



●その他

- ・各グループへの室の貸し出し
- ・あそびの学校
- ・美笹公園を同時に整備する。ちびっ子公園、プールなど。古いプールを壊して公園として活用する（耐用年数は超えている）。

コンセプトは文化交流とし、よそとの付き合いを深めるような場にしたい。様々な発表会をする。例えば人形劇フェスティバルは神奈川などで年1回開催していて3000~10000人集まる。西部福祉センターの前の公園とタイアップして、運動会などの企画をすれば活性化するのはないかな。

「西部交流センター」「グリーンパーク交流センター」

<西部Cグループ>

●センターの運営方針（コンセプト）

- ・町会運営も可能な生涯学習センター

●多世代交流プログラム

- ・公民館まつり
- ・出前講座の定期開催（スマホの使い方）
- ・BBQ大会 ・もちつき

●親しまれる年中行事

- ・もちつき ・ハロウィン

町会運営も可能な生涯学習センターにしてほしい。女木地区は町会加入者が非常に少なくなり会館を維持するのが難しい町会も出始めている。西部福祉センター内に町会の交流施設をつくってほしい。



「ニューパル(新曾の新=ニュー)」『グリーンパル』

<新曾Aグループ>

- センターの運営方針 (コンセプト)
 - ・民間に依頼する方針で
 - ・支所 (市役所の出張所)
- 多世代交流プログラム
 - ・紙芝居とか読み聞かせをシニアと幼児と一緒に
 - ・ピアノも幼児からシニアまで使わせてほしい (ピアノは第2の脳)
- 親しまれる年中行事
 - ・新曾公民館キッズ祭り (ダンス、歌)
 - ・映画上映 キッズ用向け、シニア向け
 - ・ベビーカーコンサート開催

新曾には支所がないので、マイナンバーカードに対応した機械を置くだけでもいいので支所を設置してほしい。

運営は民間でもいいのではないかな。
幼児からシニアまで楽しめる多世代交流プログラムや年中行事をしてほしい。



「新曾(ニイゾ=NiiZo)→New Zone」

<新曾Bグループ>

- センターの運営方針 (コンセプト)
 - ・管理は行政、運営は民間
 - ・誰でも楽しめる
 - ・皆で楽しく！
- 多世代交流プログラム
 - ・多世代でマージャン大会、ボードゲーム大会
 - ・多世代健康マージャン大会
 - ・地域文化交流。おはやし練習会。
 - ・何でも発表会
- 親しまれる年中行事
 - ・何でも発表会
 - ・地産マルシェの定期開催

- その他
 - ・フリーマーケット
 - ・新築の際に「メモリアルツリー」を植樹。開花時に集えるイベント。
 - ・戸田市内から田んぼが無くなってしまった。プランターを使った田植え体験教室。

愛称は公募してもいいのではないかな。
新曾地区はお祭りが盛んで、おはやしが伝統文化になっている。小中学生がそれぞれの地区のおはやしをし、多世代での文化交流をしてはどうか。

世代に特化した施設ではなく、多世代で交流できる、誰もが入りやすいところで何でもできるような施設づくりが必要だという意見が出た。



「ニイパル」「オンパル」「多世代館」

<新曾Cグループ>

- センターの運営方針 (コンセプト)
 - ・利用料無料
- 多世代交流プログラム
- 親しまれる年中行事
 - ・伝承あそびを一緒に行う (昔あそび)
 - ・ゲーム大会
 - ・〇〇まつり
 - ・音楽祭、園芸祭 (?), カラオケ
 - ・もちつき大会

新曾の新からにいパル、音楽の音からおんパル、多世代館という愛称も出た。

利用料が障害になって活動が終わってしまうと聞いているので無料に。

行事を見直し運営の組織づくりをして、地域で盛り上げていきたい。

カフェラウンジでは100円でコーヒーが飲めるなど、飲み物を飲んで集まりやすい、話しやすいものがあればいいな。

PCを自由に利用できるような部屋もあったらいい。



「みんなのよしみち広場」

<東部Aグループ>

- センターの運営方針（コンセプト）
 - ・ごちゃまぜ
 - ・だれでも来れる!!年齢、性別、生涯、困窮、動物
- 多世代交流プログラム
<2/16 下戸田ブンカ祭の内容>
 - ・地域の商店による実演会（魚の解体ショー）
 - ・保護猫&獣医の講演会 ・クラシックカーの展示
 - ・プロバスケットボール選手の教室
 - ・ツバメ玩具 エアプレーンとばし会
 - ・障がい者アート展示
 - ・地元商店のポップアップ販売 ・フラメンコ
 - ・ワークショップ ・キッチンカー
 - ・文化交流（トルコアート） ・マルシェ
- 親しまれる年中行事
 - ・1月 書き初め
 - ・2月 豆まき
 - ・3月 女子会（ひなまつり）
 - ・4月 花見
 - ・5月 子どもの日イベント
 - ・6月 マッチング
 - ・7月 七夕会
 - ・8月 花火大会
 - ・9月 体育館で運動会
 - ・10月 ハロウィン
 - ・11月 七五三
 - ・12月 クリスマス、ゴスペル



50年の年月の中でやってはいけないことや仕切りが増えて制限がかかっていると感じている。名称でくくってしまうと、誰かの為にやったことが結果、誰の為にものならない気がする。センターの愛称は誰でもごちゃ混ぜで使えるような施設ということから名付けた。今年の2/16に開催して約1000人が集まった下戸田ブンカ祭のプログラムと、1年の行事をすべて書いた。こういったものを施設の中に詰め込んでできればと思った。

「〇〇センターにはしない」

<東部Bグループ>

- センターの運営方針（コンセプト）
 - ・気軽に立ち寄れるアットホームな場所
- 多世代交流プログラム
 - ・料理教室
 - ・工芸教室 七宝焼きなど
 - ・音楽教室 童謡など
 - ・昔のあそび ベーゴマ、おはじき、けん玉
 - ・パソコン、スマホ教室 子→大人
- 親しまれる年中行事
 - ・公民館まつり
 - ・ラジオ体操
 - ・スポーツイベント



センターの名称は〇〇センターや〇〇館というようなお堅い言葉は使わない。今は「気軽に立ち寄れるアットホームな場所」程度のコンセプトでよいのでは。福祉施設、社会教育施設をベースに、そういう方針をきちんと押さえた上での施設の運営、あり方を考えた方がいい。公民館まつりは、新しい形でいろんな参加する団体を募集していく必要がある。これからの50年を見据えた上での施設のあり方、運営の仕方を考えていくことが大切だと思う。

「あずまパル」

<東部Cグループ>

- センターの運営方針（コンセプト）
 - ・交通安全指導
 - ・まめに防災のお話
- 親しまれる年中行事
 - ・朝市 2ヶ月か3ヶ月に一度
 - ・フリーマーケット



今、交通安全指導は大事なこと。自転車で左側の車道を走っていても逆走する自転車がいる。子どもに自転車の乗り方やルールを教えてもらいたいしママチャリのルール違反も多いので、これも一緒に教えてもらいたい。防災のお話をまめにやっていただければいい。子どもも集めて、クイズ形式でやれば覚えやすく、避難の時に対応できるのでそういうことも必要だと思う。朝市やフリーマーケットも2~3ヶ月おきにやれば人が集まると思う。

感想カード

今日参加して感じたことや、新しい施設に対する思いなど、自由に書いていただきました

< >は地区名

いろいろな方の話を聞いてよかった

- 他地域との合同会議で、それぞれの地域の実情が聞いて良かったと思います。公民館への熱い想いをみなさんがお持ちでうれしく思いました。<西>
- 市内3カ所、住民の平均年齢も違い、それぞれの地域の特性を生かした施設との希望、意見が多く見られた。3回のワークショップでは中々まとまらないとも感じました。<西>
- いろんな意見、とても参考になりました。ステキなセンターができるのを楽しみにしています。<西>
- 色々な意見がでて、自分自身が活性化されました。普段交流できない方々と交流が出来て良かったです。<新>
- 色々な意見が聞いて良かった。<新>
- いろいろな方と意見交流が出来てよかった。<西>
- 市としての福祉センター再整備のコンセプトや運営方針がはっきりしていない時点での具体的な希望を出すのはちょっときつい所がある(理想を出しても、それがどこまで実現可能なのか?)。他地区の考え方を知るという点ではよかった。
- 施設の利用団体として参加させていただいたので、地区在住の方とお話できたのが良かったです。3回を通してワークショップとしてはとても楽しく参加させていただきましたが、実感として再構築にたずさわっている感は少なかったです。<新>

今後の進め方

- 多くの方が避難できる施設にしてほしい。多世代が交流できるスペース等を設け、にぎわいのある様にしてほしい。再整備を考えようワークショップには多くの方から貴重な意見がありましたので、取り入れてほしい。設計段階で住民に周知し、意見を聞くことが建築の前提となります。<新>
- 民意に基づき行政連携による運営が重要。多面の意見交換は重要である。<新>
- 新曽福祉センターに入館したことが無く、この会合に出席する資格がないような気がしますが、地元中の地元なので、今後は地域にかかわって生きていきます。<新>
- 設計事務所に設計をたのむのだと思いますが、設計を見せてもらって、それに対する意見をいわせてもらえるなら変えられると思うが。今まで言った意見をどう反映させられるのか?今回が最後なので、出来たものを見せられるだけではなんともさびしい事だと思う。<東>
- みなさんの意見は、ほぼ変わらない様に思います。年齢が同じぐらいだからでしょうか?若い方の参加や意見が欲しいと思います。<西>
- 3回のワークショップに参加しましたが、皆さんの意見を聞く機会ができたことはとてもよかったと思います。ただこの内容が理想だけで、どのように活かされていくのかがあまり見えなかったように思いました。地域の中でもっと利用される場になるためには…どうしたらよいか、今現在の公民館を活気づけるにはどうするか、考えていかれるとよいと思いました。若い人の参加がほしかった。<新>
- 新しい施設をつくるので、もっと若い人をいれた方がよいのでは。<新>
- 3施設合同開催ということで、他の施設の良い所や特徴等を知ることができて良かったです。理想としては1つの施設で図書館、音楽ホール、体育館があると良いと思いますが、それぞれの特徴を活かすのも良いと思いました。いろいろな立場の方のいろいろな意見をきくことができたのも良い経験になりました。子ども達に意見を聞く機会があっても、大人にはない自由な意見が出るのではないかと思います。<東>

多くの意見を反映させた魅力ある施設に

- 人が集まるミリヨク有る場所作りを考え、沢山の意見や考えを聞くことが出来ました。市側の考えと市民の意見を沢山取り入れて良い公民館をつくれると良いと思いました。美笹公民館には史跡も有りますので、必ず残して頂きたいと思います。〈西〉
- 今後も地域の意見を聞いてより良い福祉センター(公民館)にして欲しい。町会が使えるスペース(部屋)の確保をお願いします。会館建て替えが不可能な為。〈西〉
- 今回が最後ということで今後の計画はお願いすることになります。今までは西部以外の事は考えていなかったの、今後は3拠点を見わたして、良い施設をつくってください。5W1Hにもとづいて考えてください。〈西〉

※添付資料

- 1.いつWhen：今だけ考えるのではなく、将来も考えること
- 2.どこでWhere：設置場所の環境以外に周辺地区を含めて考えること
- 3.誰がWho：誰が使うのか、地域の世帯数・年齢層と将来の変化も考えること
- 4.何をWhat：何に使うために何を作るのか、現状の使用頻度とその分析をすること
- 5.なぜWhy(※5回繰り返す)：なぜ作るのか。老朽化以外に他の施設含め、分担や共有化など、なぜを5回くり返すこと
- 6.どうやってHow：ワークショップや多数の意見抽出、建設年度を分けて予算分散し、建設後の問題を次に反映すること

- 新しい福祉センターがどういう風になるのかはわかりませんが、色々な方と同じ目標にむかって話し合えたのは貴重な機会でした。ステキなセンターができるのを楽しみにしています。〈新〉
- 大変有意義なワークショップでした。実現に向けて欲しいと思います。〈東〉
- 東部福祉センターの建て替え？改築？はまだ先のですが、今回のワークショップの内容が風化せず、活かされるとよいなと思います。〈東〉
- 色々なアイデアが出ましたが、東部地区のAグループのお話はとても良かったです。私たちもその中に入れてもらえればうれしいです。〈東〉
- 公共施設の再建はいろいろ難しい。問題があるとは思いますが、そもそもこのような市民参加の機会を設けて頂けたことは大変ありがたいことですし、地方自治のあり方として極めて重要な意義があることと思います。今後はここで話したことを少しでも多く反映した政策、施策をとって頂けるようお願いしたいと思います。ありがとうございました。〈東〉
- ステキなセンターができると良いなと思います。がんばってください。〈新〉

ワークショップに参加して

- 長時間で大変でした。〈新〉
- 市として、これは必ず取り入れるという物が有るのか。現在の物を利用した事が無いので、なかなか考えられない。防災上、必要と思うが、その他は町会会館が有るので利用する事が無い。〈新〉



誰もが集える場所に

- 公民館の建て替え後50年は続くので、少子化真っ只中、子ども達を大切にするため、シニア層の大人たちも見守り、寄り添いして育てていく、子ども達の宿題などもシニアが見てあげられるように、子育てに関わって行きたいです。公民館にはキッズもたくさん来て！シニアも来て！「ゆりかごから百寿まで」。幸せ寿命を目指し、築後50年続くことを願っています。〈新〉
- いろいろな意見があり、とても勉強になりました。多くの人達が安心して集える場所にしてほしいと思います。〈東〉
- 年令、性別、人種、国籍、その他すべての「しきい」を外して、市民が自由に気軽に使える「しくみ」をつくれれば、昔のにぎやかな施設になると思っています。なのでそのまま使いましょう!!〈東〉
- 世代を超えて集まれる場所に。〈つろぎが働き、皆とお話が気楽に出来る場所に。〈東〉
- 各地区の皆に親しまれる、人とのつき合いが広がる、多世代で使える施設が出来るのが楽しみです。〈東〉
- 運営方針が難しかった。責任が重大だが、地域の人がつながれるセンターになると良いです。〈西〉
- あれもこれもあつたらイイナーと思うだけで、思うように思いうかばなかったです。でもこれだけは、しゃれた使いやすいホールとか、歌いやすいひびきのある音楽室（戸田のシンボルとなるような）がほしいです。西部Aグループの意見が良かった。健常者のことばかり考えて、障がい者の方もつろげるような部屋を考えなかったのが自分として残念。〈新〉

菅原市長からのコメント

■どのグループも名称にパルをつけていた

3施設とも愛称にパルを付ける動きがあったというのに驚きました。パルというの仲間という意味です。あいパルなどの名称も浸透して、呼びやすいことが大事だと思いました。

■私を感じた共通点

皆さんの発表を聞いて私なりに感じた共通点が三つあります。
①多世代、多様な人に向けた施設
②にぎわいのある空間
③交流や人が集うイベントを提案
④民間活用
⑤カフェやマルシェのような参加型、地域や民間の方々が運営を含めてみんなで作くり上げるような施設

■五十年で築いたブランドを活かす

例えば新曽は音楽、東部はスポーツというように象徴的な施設として使ってきたこと、これまでの伝統を次世代につなげたいという思いがあったように思います。

■今後の公共施設

資材、物価、人件費の高騰や建設業者がなかなか決まらない状況がここ数年続いています。西部福祉センターはここから具体化して新曽、下戸田と進めていきます。この先は議会や利用している皆さんのご意見も集約していかなければいけないと思っています。今日の具体的なプランは、今後の具体的な

アクションにつなげていくための貴重な資料にします。

■これからも発展していくまち 戸田

人口も県南部ではまだ伸びていますし、県内一の若さです。多くの人に選ばれている、選ばれ続けているまちです。今後三十年、五十年とにぎわい、力強く発展する戸田を次の世代にバトンを渡していけるよう皆さんと一緒に頑張っていきたい、その象徴としてこの福祉センターを検討していければと思います。今後このワークショップで知り合った仲間と交流していただき、市にご意見を賜ればと思います。ありがとうございます。

